



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花 便 り

No.40 (2016 年 7 月号)



(^^♪ 花柄摘みも会話が弾む



＜園芸福祉の庭・6月定例作業(毎月最終日曜日 10 時～12 時)＞

目 次

園芸福祉シンポジウム in みえに参加して	2
高齢者と「香りのポマンダー作り」で交流しました	3
福岡市緑のコーディネーター座談会に参加して	4
皇帝ダリアの背丈を低くしたい方に!!	4
親子「いきもの探検隊」募集	5
雑踏を忘れ、癒しの日本庭園で「夏の寄せ植え講座」	6
山笠とこけ玉の思い出	7
あめ庭づくり奮戦記「あめにわ憩いセンター」水澄まし庵づくり	7
夏を乗り切るアイテム 美味しい赤しそジュースで夏バテ防止!!	8
3月末からの主な活動の報告	9
事務局からのお知らせ	11
園 芸 福 祉 の 庭 の い ま	12

園芸福祉シンポジウム in みえ に参加して

山崎 博子

6月18日三重県多気町で開催された「第15回園芸福祉シンポジウム」に谷口博隆代表と2人で参加しました。中部国際空港から船に乗り伊勢湾を横断、連絡バス。そして紀勢本線の列車に乗り、松阪牛で有名な松阪を通り過ぎ、列車を乗り換え無人駅の多気で降りる。別ルートで来てらっしゃる谷口代表とはメールでお互いのいる場所を確認しながら、目的地の多気駅で出会えた時はホッとしました。晴天の強い日差しのなかを会場まで他の参加者と色々会話しながら歩きました。

今回のシンポジウムは『教育とビジネス、障がい者就農』をキーワードとして、園芸福祉活動がもたらした社会的インパクト（効果）をテーマに、発表や報告、討議が行われました。基調講演は三重県立相可高校生産経済科の生徒さんの発表です。「相可高校での園芸福祉活動」は平成9年に花壇づくりからスタートしているとのことでした。「地域とつながる新しいビジネスモデル コスメ開発で園芸福祉の活性化!」企業や行政を巻き込みながら、商品開発して自ら広報活動や販売活動をしていることを生き活きと語られました。商品の「まごころ tea ハンドクリーム」の使い方を二人一組になって実演される時間もありました。女子生徒から手をマッサージしてもらった男の方の嬉しそうな顔、会場が和みました。「土日にも活動に参加することが多いらしいが、嫌じゃないですか」という質問に「高校生、誰でもこんな貴重な経験をする事が出来るわけではないので」という答えにいい経験をしているなと思いました。それを指導されている先生もすごいです。「農福連携」障がい者の農業分野への就労が官民で進められていますが、三重県は先進的な県らしいですが、取り組みの難しさを感じました。農業分野で障がい者の雇用や就労、または就労体験を行う際に、障がい者がより働きやすくなるよう、農業経営者と障がい者(家族を含む)に必要な支援を行うことのできる農園芸ジョブトレーナーを育成する講座が開催されるそうです。夜の交流懇親会は、場所を松阪市に移し松阪牛の焼き肉。私など松阪牛なんて高くて食べられませんので、柔らかくて美味しい肉をたっぷりと食べさせていただいて満足でした。



三重県園芸福祉ネットワークの取り組み

- ・ 園芸福祉花育活動 花の国づくり三重県協議会
「国産花きイノベーション推進事業」
初級園芸福祉士が保育所に向き、園児及び保育士を対象として活動
- ・ 園芸福祉ボランティア 名張園芸福祉ボランティアの会
花や野菜づくりなどの農園芸作業に携わり多くの人との交流を通じて、心身とも癒やされ、より健康で幸福に生きることを目指し活動する
- ・ 農園芸分野で障がい者就農支援 農事組合法人「花みどりの里」
初級園芸福祉士が農園芸ジョブトレーナーを習得し農福連携の要として農業現場で中間支援



農と福祉の連携（農福連携）

- ・ 「農業者やJA等の農業サイドと社会福祉法人やNPO法人等の福祉サイドが連携をすることで、農業分野で障害者等の働く場所づくり、あるいは居場所づくりを実現しようとする取り組み」
- ・ 農福連携効果
- ・ 農業サイド・・・農業従事者の確保・耕作放棄予防
- ・ 福祉サイド・・・職場確保・地域社会交流など

高齢者と「香りのポマンダー作り」で交流しました。

米倉 治美



高齢者向け住宅・ケアガーデンあじさい物語(博多区吉塚)様より講座のご依頼のお電話を頂き、6月20日(月)NP0 緑のキャラバン隊メンバー金澤 美恵子さん、田中 節子さん、米倉 治美の3名で伺いました。同団体に活動しています宇美町ハーブガーデンで収穫したラベンダーのポプリを使った「香りのポマンダー作り」に80代の入居者さん14名が参加してくださいました。

パッチワークの要領で、三角に小さく切った布を2個の卵の殻に貼り付ける作品なので「疲れないかな、大丈夫かな?」と少し心配しましたが、みなさん真剣な表情で集中して作られていました。女性は細かな手作業はやっぱり得意です。お好みの布の貼り合わせが終わり卵の殻の中にラベンダーのポプリを入れると、部屋中にラベンダーのやさしい香りが広がり「むかし富良野(北海道)に行ったことがあるのよ」と懐かしいお話を聞かせてくださる方、卵の殻の縁に花型のレースを貼ると「可愛い!」とこぼれるような笑顔を見せてくださったり・・・。

私たちが祖母と会話を楽しんでいるような和やかで楽しい時間を過ごさせていただきました。



福岡市緑のコーディネーター座談会に参加して

北野 多美子

福岡市緑のコーディネーターに認定されて10年がたちました。私個人としては活動場所の撤退で定期活動はしておらず、イベントの手伝い（学校や南区役所の花壇整備、グリップーキャンペーン等）を行っています。福岡市緑のまちづくり協会より緑のコーディネーターとの交流及び活動状況を少人数の座談会として7月12日に行われ、福岡市みどり推進課から2名、福岡市緑のまちづくり協会から3名、緑のコーディネーター8名が参加し、それぞれの自己紹介と活動状況、困っていること、これから行いたいことを発表しました。各コーディネーターはほぼ団体に所属し積極的に講座を開催したりイベントに参加されていました。困っていることとしては毎回同じ意見なので省略しますが、これから行いたいことでは、

- ・年配者が集う公園にしたい
- ・子供向けの講座を行いたい
- ・外国人ボランティアの対応（植物ガイド）をしたい
- ・企業とコラボして人と人のつながりをつくろう

など有望意見がありました。

園芸福祉ふくおかネット会員の中には福岡市緑のコーディネーターも兼ねておられる方が多いのですが、今回の座談会は自分の意見を述べるできるので、参加を打診されたら出席してはいかがでしょうか。

皇帝ダリアの背丈を低くしたい方に!!

山崎 博子

九州ガンセンターで花ボランティアを始めた14年前のことです。11月の青空に大きなピンクの花を咲かせる皇帝ダリア。初めて出会った時は驚きでした。ダリアの花に似てるけど空にそびえて咲いている。ダリアの時期は終わってるのに何だろうと近寄って見るけど名前はわかりませんでした。

皇帝ダリアは挿し木で増やせて、一度植えると強いこともあって、今ではあちこちで見ることができます。アイランドシティ中央公園の「園芸福祉の庭」でも毎年花を咲かせています。4m近くになるので、広いところでないと視線に入るとこないことや倒れないようにするために支柱を立てるなど、かなり大変なこともあります。ある年たまたま、台風で大きな幹が途中から折れてしまったのですが脇芽が出てきて花数が増え花が見事に咲きました。アゴを上げなくても、視線の中にとらえることができます。花芽は8月までは付けないそうです。私はアジサイの切り戻しの時期に合わせて天気の良い日にやっています。見通しが利かない狭い場所に植えられている皇帝ダリアにお薦めです。ぜひ、お試しを。

『みんなが楽しく、遊ぶ、学ぶ、魅力ある公園づくり』事業

親子「いきもの探検隊」募集

◆ 募集定員 親子 20 組(小学 1 年生以上) ◆ 参加費 500 円(親子 1 組)

◆ と き 7 月 31 日(日)・8 月 7 日(日)2 日間

◆ ところ 県営春日公園

◆ 持ってくるもの/ 筆記用具、帽子、タオル、飲料水、歩きやすい服装・運動靴などでお越しください。※お子さんが使用できるデジカメがある方はご持参ください。公園内はスズメバチが飛んでいます。帽子・服装は白っぽい色を着用してください。※保護者の方へお願い。香水の香りはスズメバチを刺激しますので控えましょう。

7 月 31 日(日) 自然探検にでかけよう!

- 集合場所/ 県営春日公園 自然観察館 1 階
- 探検出発/ 9:30 県営春日公園
- 自然案内人/ 日本野鳥の会福岡支部 小野 仁 先生と公園内の自然探検にでかけます。
- 11:00~12:00 観察のまとめ・ワークショップ 自然観察館 2 階

8 月 7 日(日) いきもの探検隊新聞をつくろう!

- 受付/ 8:30
- 集合時間/ 9:00 ● 集合場所/ 県営春日公園 自然観察館 2 階
- 持ってくるもの/筆記具



- ◆お申し込み・お問い合わせ先/ 福岡県営春日公園 TEL592-0544
- ◆主催/ NPO 法人 緑のキャラバン隊

後援 西日本新聞社 エフコープ生活協同組合 指定管理者 西部ガス・ファイブ共同事業体 ジェイコム九州
福岡市社会福祉協議会 春日市社会福祉協議会 大野城市社会福祉協議会

※この事業は第 11 回「エフコープ環境助成金」により活動しています。

街の雑踏を忘れ、癒しの日本庭園で『夏の寄せ植え講座』

米倉 治美

博多区のオフィス街に佇む日本庭園「楽水園」(博多区住吉)。こちらの指定管理会社から「職員と庭園ボランティアスタッフとで社会貢献活動をしたい」とご依頼をいただき、7月5日(火)楽水園でプランターを使った『夏の寄せ植え講座』をしました。



街の雑踏を忘れて木漏れ日が差す庭園の中で、2か所の高齢者施設に寄贈する寄せ植え8基を作りました。事前のプランターと花選びを米倉が担当させていただきました。楽水園さんの系列園芸店で高齢者になじみの花、高齢者が好きな色合いの花などいろいろ悩みながらの花選び。これが大変ですが、一番楽しい時間です。当日寄せ植え講座では「プランターの前で、高齢者が楽しそうな笑顔で花を観ている様子をイメージしてください」と説明し「花の高低差に気をつける、花色の組み合わせ、花をほんの少し前に傾けて表情を出す。

葉物で流れをつくるポイントなどアドバイスさせていただきました。寄せ植えが終わって「楽しかったです。ちょっとしたことで、作品にボリュームが出ますね、勉強になりました」と労いのお言葉。皆さんの笑顔が伝わる寄せ植えが完成しました。21日(木)各人が寄せ植えされた作品を持って、高齢者施設を訪問します。楽しいお話しに花を咲かせることでしょ。



この日の花苗は、キキョウ、メランポデュム、アンゲロニア、コウシュンカズラミリオンキッス(半つる性)、ディコンドラ(シルバーフォールズ)、コリウス、ハゲイトウ、日日草、千日紅、ペンタス



届いた寄せ植えを囲み花談義で楽しそうな「ケアガーデンあじさい物語」の高齢者さん。

21日「ケアガーデンあじさい物語」・7月22日「ユトリア博多」各4基届けに訪問しました。